

アメリカ社会と #Black lives matter

BLM (ブラック・ライヴズ・マター)

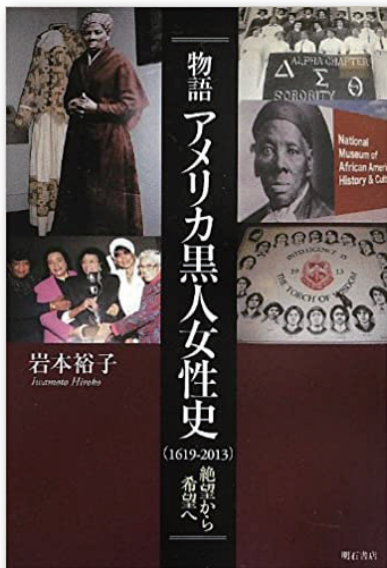


今年5月、ミネソタ州ミネアポリスに住む黒人のジョージ・フロイドさんが、白人警官に膝で首を圧迫され、「息ができない (I can't breathe)」と訴えながら窒息死しました。これに対し、抗議活動がアメリカのみならず、世界中で起こりました。日本でもデモによる抗議活動が行われました。

また、全米オープンテニスでは、「黒人女性」であることを表明している、大坂なおみさんが、警官に射殺された黒人被害者らの名前の入った黒いマスクを試合ごとに日替わりで着用し、話題になりました。

11月3日に行われる大統領選挙では、「黒人女性」の民主党副大統領候補カマラ・ハリスさんが注目を集めています。

そこで、アメリカの黒人（特にその中でも過酷な状況に置かれている女性達）がどのように差別と向き合ってきたのか、『物語 アメリカ黒人女性史 (1619-2013)』の著者 岩本裕子さんにお話を伺います。



▲明石書店刊 2013年

関心のある方どなたでもご参加いただけます。

定員：50名（要事前申し込み、先着順）

資料代：500円

主催：BLMを考える会

申込み：musashino@seikatsusha.net まで

①講座名 ②氏名(フリガナ) ③連絡先電話番号を明記

問い合わせ：0422-36-3767 *留守番電話にメッセージを残してください。

*講演の様子は、後日動画にて配信いたします。

*マスクなど感染症対策をしてお越しください。

黒人女性史の視点から

むさしの市民平和月間 2020



11/14 (土)

14:00 ~ 15:30

武蔵野公会堂
第1・第2会議室

吉祥寺駅南口下車徒歩3分

いわもと ひろこ

講師：岩本 裕子さん

浦和大学 こども学部教授

1977年津田塾大学を卒業後、9年目に立教大学大学院へ進学。2006年同大学院で博士(比較文明学)学位取得。

著書

『アメリカ黒人女性の歴史—20世紀初頭にもみる「ウーマニスト」への軌跡』(明石書店1997年)

『スクリーンで旅するアメリカ』(メタ・ブレーン1998年)

『スクリーンに見る黒人女性』(メタ・ブレーン1999年)

『スクリーンに投影されるアメリカ—「9月11日」以降のアメリカを考える』(メタ・ブレーン2003年)

『語り継ぐ黒人女性—ミシェル・オバマからビヨンセまで』(メタ・ブレーン2010年)

最新作

『今、問い続けるということ—多文化共生への歴史理解』(メタ・ブレーン2020年)